

AEDを使った心肺蘇生法の流れ

桂川消防署救急係の方に指導していただきました。

観察

処置



①反応を確認する

▲「大丈夫ですか」と耳元で大声で呼びかけながら肩を叩き、反応があるかを確認する。

①反応を確認する

②助けを呼ぶ

③呼吸を確認する



②助けを呼ぶ

▲「あなたは119番通報してください」「あなたはAEDを持ってきてください」と、具体的に依頼。



③呼吸を確認する

▲胸や腹部の動きなどを見て、普段どおりの呼吸をしているかどうかを目視で確認します。

④胸骨圧迫（心臓マッサージ）

30回を1セットとし、胸の真ん中を重ねた両手で「強く、速く、絶え間なく」圧迫する。
 ○強く⇒少なくとも5cm以上胸を沈める
 ○速く⇒少なくとも100回/分のペース
 ○絶え間なく⇒中断を最小にする



④胸骨圧迫

▲ヒジを伸ばし、体全体で強く圧迫する。救急隊員に変わるまで中断せず、AED装着時などでも続ける。



⑤人工呼吸

▲人工呼吸をすることができない場合や、ためられる場合は、胸骨圧迫のみを続ける。

⑤人工呼吸

手を額に添えて、逆の手であご先を上げて、空気を肺に通しやすくする。口を大きく開けて傷病者の口を覆い、空気が漏れないようにして息を約1秒かけて吹き込むことを2回行う。

⑥心肺蘇生を繰り返す

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回のサイクルを繰り返す。



⑦⑧AED装着・使用

▲心電図解析時や電気ショック使用時は、誰も傷病者に触れていないことを必ず確認する。

⑦AED装着
音声メッセージに従い、電源を入れ、電極パッドを装着する。

⑧心電図の解析
電気ショックは必要か？

⑨電気ショック1回
⑩その後ただちに胸骨圧迫と人工呼吸を再開

⑩ただちに胸骨圧迫と人工呼吸を再開

⑪繰り返し

⑪繰り返し

必要あり

必要なし

参考：飯塚地区消防本部
『改訂4版 応急手当講習テキスト』



- 桂川町役場 1階ホール
- 住民センター 1階ホール
- 福祉センターホール
- 総合体育館 玄関ホール
- 桂川小学校、桂川東小学校、桂川中学校、桂川幼稚園 など

最近では、多くの施設に設置されています。普段使っている施設内のごに設置しているか確認しておき、万が一のときの救命に役立ててください。

なお、桂川町内では、次の場所に設置しています。

- 医療・福祉施設 など
- 公共施設
- 空港、駅
- デパート、ショッピングモール

例えば…

